

報告事項キ

平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
の公表について

平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の
公表について別紙のとおり報告します。

平成30年10月31日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の公表について

平成30年10月31日

いじめ・不登校総合対策センター

平成29年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果が公表されました。

いじめに関しては、小・中学校で昨年度より認知件数が増加していますが、千人あたりの認知件数は全国平均を下回っています。

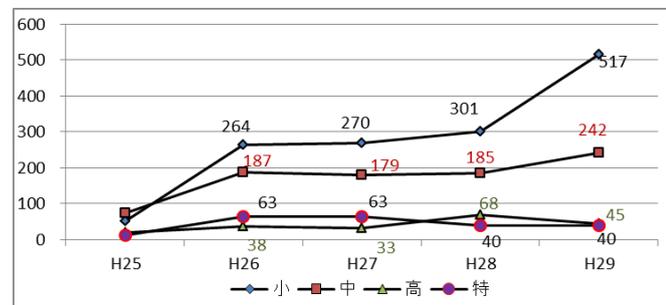
不登校に関しては、鳥取県は平成28年度と比べ、小学校は14人増加（出現率は0.05%上昇）、中学校は3人増加（出現率は0.08%上昇）、高校は23人増加（出現率は0.17%上昇）しています。

暴力行為に関しては、小・中学校とも前年度を上回り、平成25年度以降で過去最高の数値となっています。また、小・中学校ともに、生徒間暴力の件数が増えています。

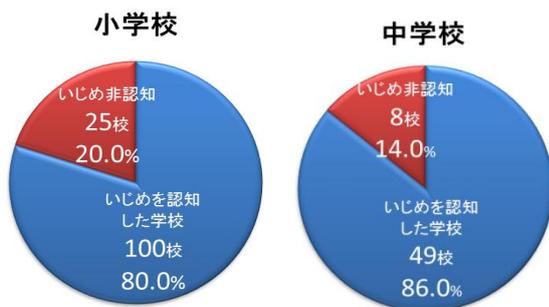
1 いじめの状況について

(1) いじめの認知件数の推移（国公立）（H25-H29）

いじめ		H25	H26	H27	H28	H29
鳥取県	小	52	264	270	301	517
	中	73	187	179	185	242
	高	20	38	33	68	45
	特	12	63	63	40	40
	計	157	552	545	594	844
	認知件数/千人	2.4	8.7	8.7	9.6	13.8
全国	認知件数/千人	13.4	13.7	16.5	23.8	30.9



(2) いじめを認知した学校の割合（公立のみの県独自調査より）



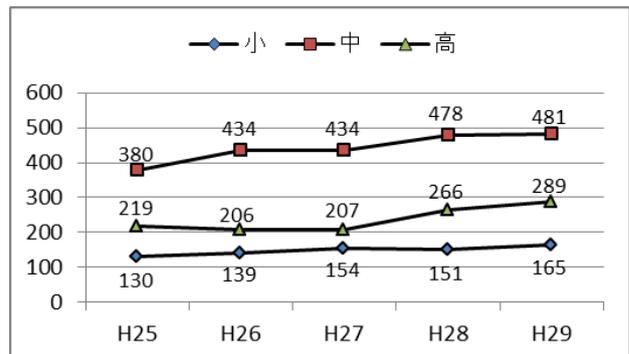
(3) いじめに関する分析と対応

- ・他県と比較すると1,000人当たりのいじめの認知件数は低い状況である。また、いじめ認知の学校間格差もある。引き続き職員研修や学校訪問等での説明により、いじめの積極的な認知を促すとともに、いじめの早期発見につながる記名または無記名アンケートの効果的な活用等を進めていく。
- ・いじめ認知ゼロの学校を抽出訪問する。
- ・いじめ問題対策連絡協議会で、「SNSによるいじめの通報システムについて」と「いじめ対応マニュアルについて」の検討を行い、施策に反映させる。

2 不登校等の状況について

(1) 不登校児童生徒数の推移（国公立）

不登校		H25	H26	H27	H28	H29
鳥取県	小	130	139	154	151	165
	中	380	434	434	478	481
	高	219	206	207	266	289



(2) 不登校出現率 (%)

不登校		H25	H26	H27	H28	H29
小	鳥取県	0.42	0.45	0.51	0.51	0.56
	全国	0.36	0.39	0.42	0.48	0.54
中	鳥取県	2.31	2.65	2.69	3.02	3.10
	全国	2.69	2.76	2.83	3.01	3.25
高	鳥取県	1.76	1.34	1.35	1.73	1.90
	全国	1.88	1.59	1.49	1.47	1.51

(3) H28→H29の出現率の比較 (%)

	小	中	高
鳥取県	+0.05	+0.08	+0.17
全国	+0.06	+0.24	+0.04

全国、鳥取県とも不登校の出現率は上昇しているが、全国の上昇に比べ、鳥取県の小・中学校の上昇率はおさえられている。

(4) 不登校に関する対応について

・教育相談体制の充実

「教育相談体制充実のための手引き」に基づいて、引き続き管理職や学校担当者の研修、学校訪問等で教育相談体制の充実についての周知を図っていく。

<手引きのポイント>・未然防止、早期発見及び早期支援に重点を置いた体制づくり

・SC及びSSW等の専門家や関係機関と連携した組織的対応

・課題の要因や背景に目を向けた具体的な支援

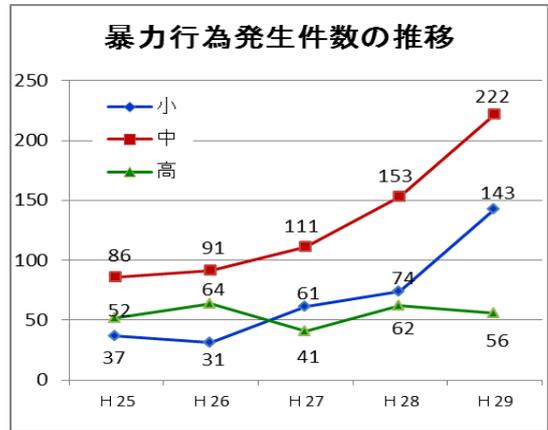
・新規不登校を減らす取組

不登校の分析を「継続数（前年度も不登校であった児童生徒数）」「新規数（前年度は不登校でなかった児童生徒数）」に分けてその推移を見ることで学校の成果や課題を確認し、学校の「PDCAサイクル」を機能させ、早期発見・早期支援に重点を置いた取組を行う。

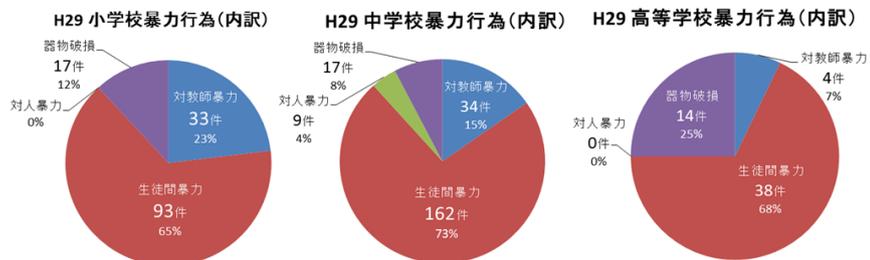
3 暴力行為の状況について

(1) 鳥取県の暴力行為の発生件数の推移（国公立）

暴力行為		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	前年比増減
鳥取県	小	37	31	61	74	143	+69
	中	86	91	111	153	222	+69
	高	52	64	41	62	56	-6
	計	175	186	213	289	421	+132
	発生件数/千人	2.8	3.0	3.5	4.7	7.0	+2.3
全国	発生件数/千人	4.3	4.0	4.2	4.4	4.8	+0.4



(2) 暴力行為の内訳（国公立）



(3) 暴力行為に関する分析と対応について

- ・小・中学校の暴力行為の増加、その中でも生徒間暴力の増加は、いじめの積極的な認知を進めているため、併せて生徒間暴力として報告されていることによると考えられる。
- ・児童生徒が行為を起こす背景や要因は何か、同じ児童生徒が行為を繰り返すことはないのか、指導が入りにくいと不安感が強いなどの視点での検証など、児童生徒理解をしっかりと行った上での組織的対応が必要である。